



さらに、毎回の様に好評を得ている「秋田犬ふれあいコーナー」を始めとして、特産品の曲げわっぱの制作実演・手作り体験、冬の風物詩のアメッコ市のPRなど大館の観光と物産をアピールしました。たくさんの方々が詰め掛けた会場は、大いにぎわいました。



## 第6回忠犬ハチ公のふるさと 秋田大館フェア (渋谷郵便局)



一月二十三日から三日間、第六回忠犬ハチ公のふるさと・秋田大館フェアが渋谷郵便局で開催されました。今回は渋谷区の小・中学校の給食で使用するためのお米を大館から供給するための基本合意書の交換が行われ、なお一層渋谷区との関係が深まりました。



大館の誇り

除雪ボランティア

市長リポート

No. 233

この時期、雪国で生活する私どもは、大変な労力と時間を割いて除雪しています。昔から、自分の家の敷地内や家の前の雪などは、各自が除雪してきました。ところが高齢化や都市化が進み、高齢者のみの世帯が増え、その世帯では除雪がでぎずに困っているという状況がでてきました。そのような折、市民の皆さんの善意で行う除雪ボランティアは、人の心の暖かさをじかに感じる事ができる、すばらしい贈り物なのではないでしょうか。

昨年は、四十一団体と三校の計千二百五十二人が三百六十一世帯の除雪を行いました。このボランティア活動の暖かさは、市民の皆さんを元気づけます。もちろん市でも精一杯除雪を行っていますが、個々の家までは手が届きません。ですから本当にこの除雪ボランティアには、感謝しています。これからは、住宅そのものを除雪しなくてもいいように改善していくとか、融雪溝の設置など除排雪体制の一層の強化の必要性を痛感しています。

さて、この除雪ボランティアは、今後の社会の一つのあり方を示していると思っています。というのも、これからは高齢者が確実に増え、それにつれ行政へのニーズも多種多様化していきます。しかし、それらすべてのニーズには、対応しきれない状況が出てきます。その行政ではできないことを、お互いが手を差し伸べて、助け合って生きていくという社会はすばらしいと思います。除雪に限らず、いろいろな面でボランティアの輪が広がっていけば「大館って本当にあつたかい街なんだなあ」と感じる事ができると思います。

除雪ボランティアは、大館の誇りです。

小畑 元